室蘭工業大学
学術資源アーカイブ
Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive

フライトシミュレータ装置の設置：試験装置整備報告

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター
	公開日: 2016-04-26
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 溝端, 一秀, 棚次, 亘弘, 笹山, 容資, 工藤, 摩耶
	メールアドレス:
	所属: 室蘭工業大学
URL	http://hdl.handle.net/10258/00008673

室蘭工業大学
学術資源アーカイブ
Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive

フライトシミュレータ装置の設置 ： 試験装置整備報告

著者	溝端　一秀，棚次　亘弘，笹山　容資，工藤　摩耶
雑誌名	室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター年次報告書
巻	2006
ページ	55-55
発行年	2007-05
URL	http://hdl.handle.net/10258/00008673

試験装置整備報告 － フライトシミュレータ装置の設置

○ 溝端 一秀 （機械システム工学科 助教授）
棚次 亘弘 （航空宇宙機システム研究センター長，教育研究等支援機構 教授）
笹山 容資 （機械システム工学科 航空宇宙機システム研究室）
工藤 摩耶 （機械システム工学専攻 航空宇宙機システム研究室）

航空宇宙機の飛行性能・飛行安定の予測・検証や，誘導・制御系の設計およびその性能の検証を目的として，フライトシミュレータ装置を導入した．当初の仕様としては，双発小型ジェット機（CRJ200，Learjet45）の飛行を世界中の主要空港および主要航空路で模擬できる．今後６自由度飛行力学計算システムを自主構築しフライトシミュレータに統合することによって，風試による空力特性データやエンジン性能の予測データを用いて小型超音速飛行実験機の飛行性能・飛行安定や誘導・制御系の研究・開発に活用する計画である．また，航空宇宙機の大気中の飛行メカニズムは言葉で表現し難いものであるが，このフライトシミュレータを使えば，パイロットになったがごとく飛行メカニズムを体感できるので，飛行力学の実習授業にも極めて有用である．

図１：フライトシミュレータ装置の概観

図２：フライトシミュレータ装置を用いた小型超音速飛行実験機の開発手順